



## 令和7年度 「清須市協働テラス 2026 春」 開催記録

日 時：令和8年3月14日（土） 14:00～16:00 （会場設営と直前打ち合わせ 13:00～16:30）

場 所：清須市役所 北館2階 第1・2会議室

出席者：26名 <会場スタッフ：清須市職員3名、ボランティアネイバーズ3名も左記に含む>

全体進行（ファシリテーター）：西森真紀/NPO法人ボランティアネイバーズ（以下、VNS）

### 開会・オープニング

#### ○前回（第1回）の振り返り （清須市企画部企画政策課 山内）

令和6年12月6日に開催した第1回 協働テラス（清須市協働テラス2025冬）の振り返りとして、意見交換の二つのテーマから出た代表的な意見を紹介しました。



テーマ①「ファミサポ提供会員不足について」からの主な意見：

- ・スポーツ施設などでまず「ファミサポを知ってもらう」説明会の実施が有効ではないか。
- ・提供会員になることへのハードルが高い。ボランティアとしてのやりがいを前面に出した広報を。

テーマ②「地域主体で子育てを支える仕組みづくり」からの主な意見：

- ・安心して子どもたちが集まれる場所や人が必要。
- ・子育てだけでなく高齢者や他世代も含め、みんなで助け合える仕組みが求められる。
- ・気軽に多世代が集まり顔見知りになるコミュニティカフェのような場所があるとよい。

#### ○本日の目標・市民AIくんの紹介 （清須市企画部企画政策課 山内）

第1回と同じ二つのテーマをさらに深掘りするため、約1,400件の市民の声を学習した「市民代表AI（市民AIくん）」を活用して議論を進めることを説明しました。

- ・市民AIくんの学習データ：第1回会場意見21件 + オンライン協働テラス意見（12/8～1/11）74件 + 令和6年子育て支援ニーズ調査（児童保育課）1,326件 = 約1,400件
- ・市民AIくんの位置づけ：「行政の回答ではなく、市民意見の集約・代弁者」として機能

そして、本日のゴールを2点示しました。

- ・テーマ①：ファミサポ提供会員を増やすための改善パッケージを整理し、事業担当課（児童保育課）への提案につなげる
- ・テーマ②：地域主体の子育て支援として、市民自らが「やってみたい」と思う活動の芽を生み出す

## 市民 AI くんによる総合見解の発表

市民 AI くんの発言をスクリーンに投影しながら、西森（VNS）が読み上げました。

「約 1,400 件の市民の声から、2 つの大きな課題が見えてきました。①ファミサポ提供会員への参加を考  
えても、事故やけがのときの責任が不安で一步踏み出せない方が多くいます。自宅での活動への抵抗感も大  
きな壁です。②地域で支え合う仕組みについては、父親も気兼ねなく過ごせる場所、シニア・学生ボランテ  
ィアなど多世代が緩やかに連携して子育てを見守る温かい仕組みを求める声が多くありました」

山内（市）が 2 点に整理して提示しました。

- ・ファミサポ = 「不安」の存在（責任・保険の不明確さ、自宅提供への抵抗）
- ・地域主体 = 「居場所ニーズ」（親子がほっとできる居場所づくり）

## テーマ① ファミリーサポートセンター 提供会員を増やすには

### ○市民 AI くんによる 4 提案の提示

市民 AI くんが市民の声をもとにまとめた解決策の提案を以下の 4 案として提示しました。

- ・案 1：気軽な説明会・見学会の実施（保険の周知、活動の流れの可視化、SNS・動画での発信）
- ・案 2：地域ふれあいスポット登録・認証制度（自宅以外の活動場所の確保）
- ・案 3：バックアップ要員体制の整備（友人とのペア登録・チーム提供）
- ・案 4：デジタル化（登録・マッチングのオンライン化、アナログ併用）

### ○参加者投票・付箋記入による議論

参加者に各自 2 票までの投票を行い、その後付箋に意見・アイデアを記入して模造紙に貼り、全体で共有  
しました。

投票結果：

- ・案 1 気軽な説明会・見学会の実施 …… 10 票（最多）
- ・案 2 地域ふれあいスポット登録・認証 …… 10 票（最多）
- ・案 4 デジタル化 …… 6 票
- ・案 3 バックアップ要員体制 …… 5 票

参加者から出た主なアイデア・意見：

（案 1）

- ・SNS や YouTube で約 30 秒の短尺動画を発信。先輩提供会員の「密着動画」や体験談が効果的
- ・「送迎依頼が中心」という実態を明確に伝え、心理的ハードルを下げる
- ・スーパーや郵便局など生活動線上へのチラシ設置、母子手帳交付時の案内、Zoom 説明会実施
- ・救急法講習と連動することで安全面への安心感を醸成

（案 2）

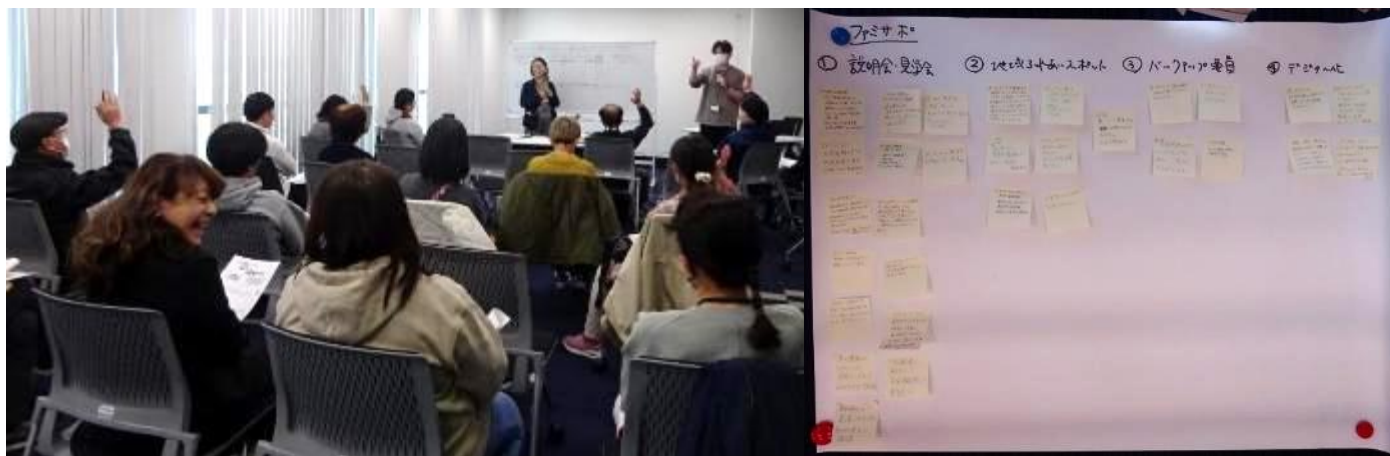
- ・自宅以外の場所（公共施設・空き家・企業スペース等）を活動拠点に  
→ 具体的な候補地が決まれば協力する団体が出てくる可能性もある

（案 3）

- ・ペア登録・チーム提供で責任を分散。人材マップでスキル・対応可否を見える化する

(案4)

・地域共助シェアリングサービス「AsMama」等との連携・先行事例の調査も有効



#### ○担当課のコメント (児童保育課 八木)



児童保育課の八木です。いただいたご意見は一度整理した上で、今後どのような取り組みができるか検討させていただきます。

また、本日は提供会員として活動されている方にもご参加いただき、日頃のご協力に感謝いたします。

児童保育課からのご案内もさせていただきます。

・子育て情報サイト「キヨスマ」を令和8年2月にリニューアル公開。手続きフローの充実・情報発信を強化しています。

・母子保健機能付き子育てアプリを令和7年12月より導入しました

(予防接種スケジュール・成長記録等)。サイトと連動して情報発信を強化していきます。

#### テーマ② 地域主体の子育て支援の新たな取り組み

##### ○市民AIくんによる4提案の提示

- ・案1：子どもと親が集える場所・拠点づくり（公共施設・企業スペース等の活用）
- ・案2：親子カフェの設置（総合福祉センター既存スペースや空き家等の活用）
- ・案3：家庭内・地域で、チームで子育て（父親・シニア・学生が複数で見守る体制）
- ・案4：こども110番の家の拡充（顔が見える安全拠点へ）

##### ○「活動の芽」旗揚げタイム・グループ別議論

付箋に「自分がやりたいこと・やれること」を記入後、関心の近いメンバーで自然に3グループが形成され、それぞれで議論を深めました。



グループ A：公共施設活用×父親の居場所

- ・土曜日の児童館等を父子向けに開放し、ボランティアが常駐することで初めてでも来やすい場に
- ・オンラインサロンでまずつながり、対面の集まりへ橋渡し（地元特化での展開）が有効ではないか
- ・市の広報等による後押し（職員の負担を最小限で）もお願いしたい



グループ B：支援のはざまにいる子の親のピアサポート

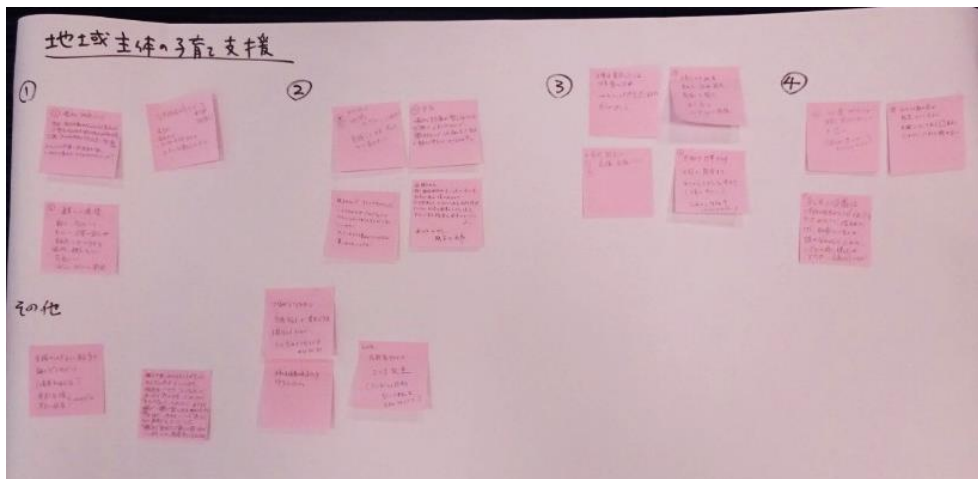
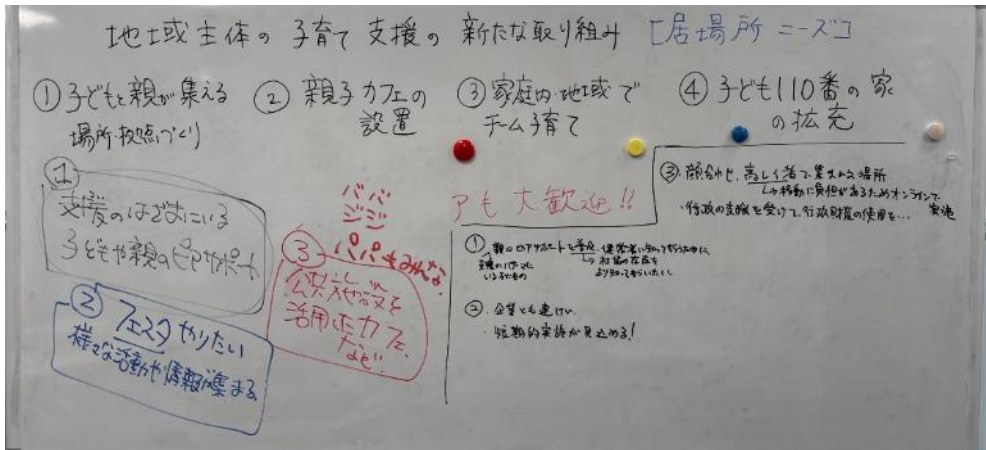
- ・境界知能児（知的障害には当てはまらない境界域にある子ども）の親が互いにつながれるピアサポートを立ち上げたい
- ・「診断がつかないが困っている」ケースへの相談窓口を可視化し、早期支援につなぐ
- ・市職員（こども家庭課・保健師等）や社会福祉協議会の職員が境界知能の基礎知識を持ち、県の専門機関へ紹介できる体制を整えてほしい（職員向けの研修会開催を含めて）



グループ C：子育て支援フェスタ（つながるテラスの発展形）

- ・「つながるテラス」を中心とした支援者ネットワークを核に、「子育て支援フェスタ」を企画したい
- ・企業も巻き込み（宣伝・販売と親子イベントを Win-Win 接続）、ベーマッサージやスイミング等の体験を一堂に開催できるとよい
- ・企業からも「協力できる」という声が上がリ、「子育て支援フェスタ」

実現に向けた機運が高まった





## 閉会にあたって (山内)

本日は限られた時間の中で、さまざまなご意見をいただきありがとうございました。今回は第1回に引き続きテーマを深掘りするとともに、市民の思いを学習した AI からの提案も取り入れるという新たな試みで進めました。

本日いただいたご意見については、市民協働係で提案内容を整理し、いったん皆さまにご確認いただいた上で、改善パッケージとして担当課へ提案していきたいと考えています。

・テーマ①「ファミリーサポート提供会員を増やすため」の方策として、活動内容が分かる説明会や見学会など、身近に参加できる機会を増やすことが有効ではないかという意見が多く出ました。これら短期的に実施可能な取組については、市民協働係として提案内容を整理し、皆さまの確認を経た上で担当課へ提案します。また、ふれあいスポットの活用やバックアップ体制、デジタル化などについては、中長期的な課題として今後の検討事項とします。

・テーマ②「地域主体の子育て支援」については、居場所のニーズを中心に活発な意見が出されました。短期的には、支援のはざまにいる子どもとの連携の流れを職員へ共有するとともに、フェスタなどのイベントを活用した取組を進めます。これらの結果については、来年度の協働テラスの場で報告します。また、公共施設を活用したカフェなどの居場所づくりについては、中長期的なテーマとして、来年度以降も継続して検討していきます。

最後に、本日は多くの活発なご意見をいただきありがとうございました。今後も協働テラスの場を通して、地域の子育て支援について一緒に考えていければと思います。来年度もよろしくお願いいたします。

以上